



興味いっぱい ロボット自作 仙台で理科教室 ロボット作りを通して

理科に興味を持ってもらおうと、応用物理学会東北支部などが主催する「リフレッシュ理科教室」が17日、仙台市太白区

の東北工業大で開かれた。

児童生徒33人が参加し、電池とモーターで動く車輪型移動ロボット

本体を組み立てた後、学生らの指導を受け、パソコンを使って動作を指示するプログラミングもこなした。完成後は競技用ボードで正確に動かした。

参加した仙台市栗生小5年の山中寧子(やすこ)さん(10)は「パソコンで動き方を指示するのが楽しかった。理科がますます好きになった」と話していた。互いに協力しながら、2人一組でロボットを作る児童たち